湖東・湖北
毎月第３日曜日発行
2026 9月号 Vol.202
毎日ナビ
毎日新聞湖北ブロック会　協賛
湖北ブロック会事務局（毎日新聞彦根城東販売所）
滋賀県彦根市地蔵町 120-105　TEL.0749-26-9673
制作／オフィスいしやま（毎日新聞大津販売）
発行／毎日新聞社大阪販売三部

## 湖東

彦根

### ユニークな公約を実現・報告
### 市内7中学校 生徒会が知恵絞る

彦根市立の7中学校による「生徒会長公約実現事業」の報告会が8月31日、市役所であった。市は昨年夏、クラウドファンディング（CF）で資金を集めて各校に10万円を配布。この予算で各生徒会が知恵を絞り、ユニークな事業を展開した。

鳥居本中では全生徒が通いたくなる学校を目指し、「ゆったり部屋」を整備した。クッションやDVDプレーヤー、プロジェクターを購入。この部屋で昼休み中にアニメなどを流し、リラックスしてもらったという。また悩み事などを紙に書き、シュレッダーにかけるストレス解消のコーナーも設けた。

彦根中では同校キャラクター「ひこっぺ」のかぶり物を制作した。発泡スチロールの塊を3カ月がかりで加工。内部にヘルメットも仕込んで、卒業式などに登場させた。さらに「あいさつ運動」を盛り上げようとカラフルなのぼり旗も作り、登校時に活用した。

【彦根通信部・伊藤信司】
（毎日新聞9月2日）


公約実現報告会でマスコットキャラクターを披露した彦根中の生徒会

## 湖北

長浜

### 大谷川のオオサンショウウオ
### 守る会 市に人手・費用支援要請


長浜市の浅見宣義市長（右端）に署名を手渡す斉藤修会長（中央）ら

長浜市北部を流れる大谷川に生息する日本固有種のオオサンショウウオを守ろうと、「滋賀のオオサンショウウオを守る会」（会長＝斉藤修・長浜バイオ大客員教授）と「古橋のオオサンショウウオを守る会」（大山考一会長）は、市に人手や費用支援を求め、浅見宣義市長へ賛同者222人分の署名を手渡した。

大谷川の固有種を守るには、河川環境の保全、改良だけでなく、遺伝子鑑定で常に状況を把握することが必要となる。署名を提出した斉藤会長は、生息状況調査のための人手や費用の支援▽オオサンショウウオが市内で発見された際、「保護、遺伝子検査」に対応するマニュアル作成▽1件につき約1万円かかる遺伝子検査の費用支援――の3点を市に要望した。市は「守る会」と協同し、早急に県にも協力を要請し、保護に向けて検討するとしている。

【長浜通信部・長谷川隆広】
（毎日新聞8月10日）

### ひこにゃん誕生20周年
### フレーム切手発売

彦根

彦根市のキャラクター「ひこにゃん」の誕生20周年を記念し、新たなフレーム切手（1500円）が発売された。ひこにゃんのフレーム切手は4作目。1200シートを発行し、県内の全郵便局とインターネットで販売する。

市と地元郵便局がデザインした。赤い紋付き姿で扇子を開くひこにゃんの下に、110円切手5枚を並べた。各切手では、ひこにゃんが大名庭園などで愛らしいポーズをとっている。

日本郵便の三苫倫理（のりまさ）・近畿支社長が8月20日に彦根市役所を訪れ、田島一成市長に贈呈した。三苫支社長は「ひこにゃんを全国にアピールできれば」とあいさつし、田島市長は「切手になるゆるキャラを、大変誇らしく思う」と応じた。

【彦根通信部・伊藤信司】
（毎日新聞8月24日）


フレーム切手のパネルを手に大喜びのひこにゃん

### 坂口さんに盾贈呈
### ノーベル賞受賞「名誉市民」記念で

長浜


名誉市民の記念盾を前に笑顔を見せる坂口志文さん＝長浜市提供

長浜市は7月28日、同市出身で昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞した坂口志文・大阪大特別栄誉教授に名誉市民の記念盾を贈呈した。

市は1月に坂口さんに名誉市民の称号を贈った。その記念品として、坂口さんの出身地、同市曽根町にある「カネイ中川仏壇」の五代目、中川喜裕さんが製作した漆塗り鏡面仕上げの盾を贈呈。伊吹山、コハクチョウ、梅の文様を金箔（きんぱく）であしらい、製作に半年を要したため、この時期の贈呈になった。

贈呈は大阪府吹田市の大阪大学で行われ、浅見宣義市長が手渡した。浅見市長は「盾には長浜の心を表現しました。故郷・長浜を思い出し、今後も世界に貢献する研究を進めていただきたい」とあいさつ。坂口さんは「医学の研究をもう少し続け、自分なりに精進しながら少しでも社会の役に立てるよう努めていきたい」と話した。

【長浜通信部・長谷川隆広】
（毎日新聞8月3日）